

大念佛

No.80

発行／融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 倍巖良舜

この度の台風二十一号、二十二号に伴う暴風雨により
被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

融通念佛宗 総本山 大念佛寺



私は九十五歳になりましたが、「時間とは何だろうか」と思うのです。昨日の私と今日の私とは外見上殆んど変っていませんが、十年前、二十年前、三十年前と比べると大変老化し変わっています。

私は九十五歳になりましたが、天の霹靂の何万倍かのおどろきで突如、兵隊になつたことは青まぬがれ終戦をむかえることができました。戦後数年のアメリカ占領下の混乱貧乏時代もありましたが、着々と復興して今日に至っております。

反面、目に見えない「心」「命」「神」「仏」「和」「信」「善」とかへの関心が薄れるとのないように願っています。

本年も皆様の御健勝と御多幸を祈念致します。

私は奈良から平野までJRで通っていますが、乗客の半分位は「スマホ」をすばやい指で操作しています。私も昔「そろばん」を習つて早く操つていたことを思いおこします。車窓から四季のながめを楽しんでいるのは少数派です。

科学万能の時代といつて自動車も文字通り自動運転になつていくそうです。すごいことだと思います。しかし科学といつても、自然科学もあれば精神科学もあります。仏教学も原理にかない体系をもつてゐる精神科学です。自然科学の発展によつて我々の日常生活はより便利に、より快適になつてきました。有難いことです。

車も文字通り自動運転になつていくそうです。すごいことだと思います。しかし科学といつても、自然科学もあれば精神科学もあります。仏教学も原理にかない体系をもつてゐる精神科学です。自然科学の発展によつて我々の日常生活はより便利に、より快適になつてきました。有難いことです。

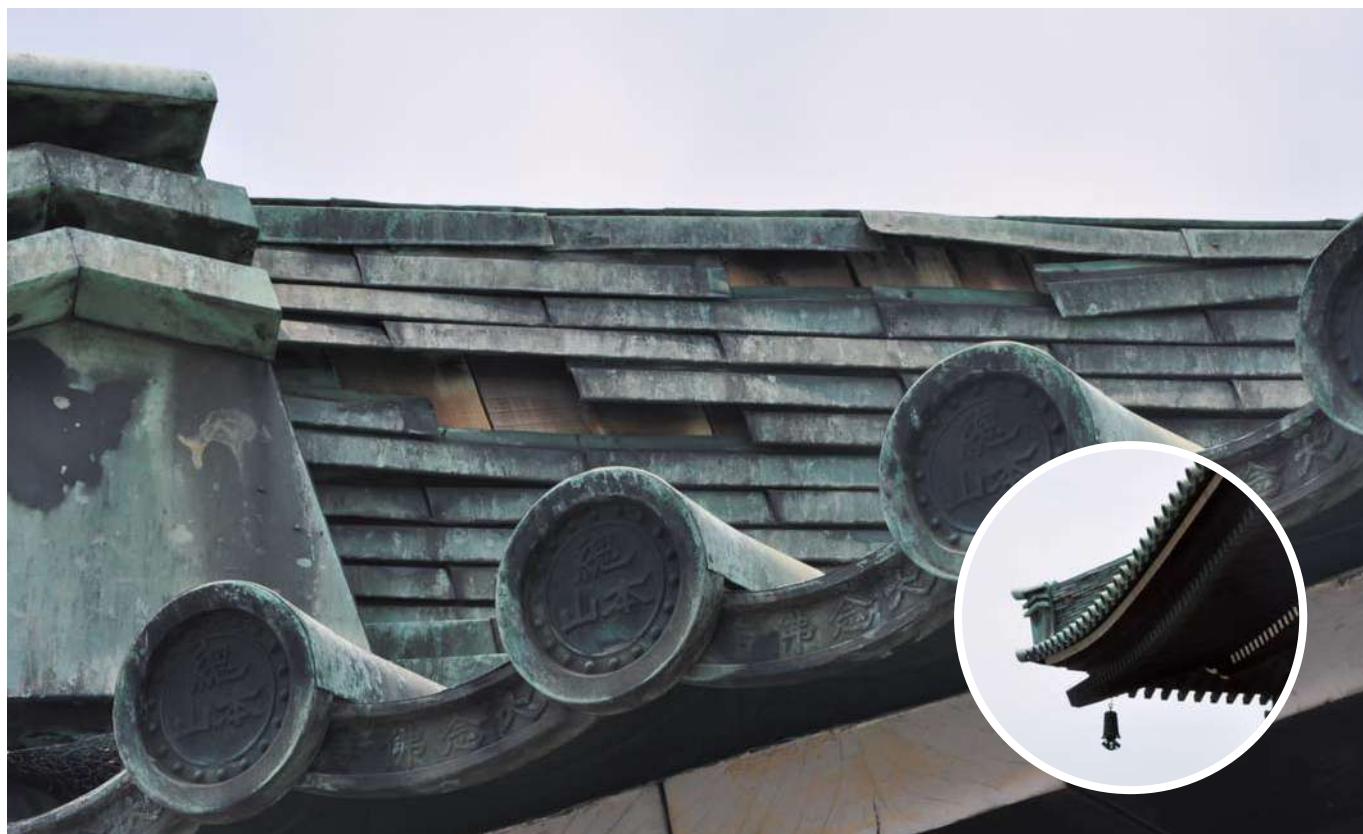
車も文字通り自動運転になつていくそうです。すごいことだと思います。しかし科学といつても、自然科学もあれば精神科学もあります。仏教学も原理にかない体系をもつてゐる精神科学です。自然科学の発展によつて我々の日常生活はより便利に、より快適になつてきました。有難いことです。

車も文字通り自動運転になつていくそうです。すごいことだと思います。しかし科学といつても、自然科学もあれば精神科学もあります。仏教学も原理にかない体系をもつてゐる精神科学です。自然科学の発展によつて我々の日常生活はより便利に、より快適になつてきました。有難いことです。

倍巖 良舜

融通念佛宗管長

ています。つまり同じ人間であるが同じ人間ではないわけです。一瞬一瞬のうちに新しい人間が生まれていることになります。連続した時間ではないのです。



総本山大念佛寺の中心伽藍の
本堂（大堂）は明治三十一年（一
八九八）の失火により鳥有に帰し、
四十年の歳月をかけて昭和十三

年（一九三八）に総檜造り銅板
葺き、東西約五十メートル、南北
北約四十メートル、大阪府下最
大の木造建築物として再建され

本堂屋根改修について

すでに経過しております。
そこで、宗議会・評議会の協
議を経て改修工事の実施を決定
しました。

末寺檀信徒各位におかれまし

ては、出費ご多
端な折から大変
とは存じますが、
今後、屋根改修
工事着工にむけ
て、浄財の積立
並びに瓦勧進の
ご理解とご協力
の程よろしくお
願い申し上げま
す。

合掌

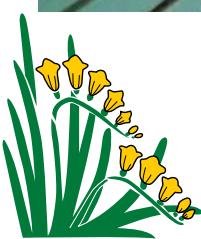
融通念佛宗
総本山大念佛寺



ました。平成十五年には国の登
録有形文化財に指定されました。
しかし近年、特に屋根瓦の破
損がいちじるしく、雨漏りする
部分も見うけられるようになつ
てまいりました。ご承知のとおり、
木造建築においては、屋根は生
命であり、雨漏りを放置するこ
とはできません。平成十二年には、
下の写真の様に鳩の糞害で破損
した銅板瓦を差し替えるなどの
応急の対策を施しましたが、傷
みがひどく、部分修理が限界と
なり、また、銅板瓦の耐用年数
も六十年～八十年といわれており、



平成12年 瓦破損の様子



去る十月四日、大念佛寺本堂
におきまして、「阪神大震災物
故者二十三回忌・東日本大震災
物故者七回忌・熊本地震物故者
一周忌追悼法要・落語会」を河
内西国靈場会主催にて厳修致し
ました。法要当日はお天気にも
恵まれ、各札所の住職方と三百
五十名を超える参詣の方々で満
堂の中、しめやかに物故者の慰
霊法要を執り行いました。法要
頂戴し、復興への思いを新たに
致しました。その後、女性落語
家で天台宗僧侶でもある露の団



姫さんの仏教落語と講演会、太
神楽曲芸師の豊来家大治朗さん
の曲芸でお楽しみ頂きました。
平日にも関わらず沢山のご参詣
を頂き有難うございました。



震災物故者追悼法要と落語会

河内西国靈場会会長 念佛寺 河島 博明

姫さんの仏教落語と講演会、太
神楽曲芸師の豊来家大治朗さん
の曲芸でお楽しみ頂きました。
平日にも関わらず沢山のご参詣
を頂き有難うございました。

河内西国靈場会は、河内地域、
信貴生駒山系に沿って点在する
寺院で構成された観音靈場会で、
皆様の「ここらのやすらぎ」と
なれるよう、日々活動を行って
おります。どうぞ宝印帳やお軸
をもって、河内西国靈場札所の
お寺までご参詣下さいますよう
お願い申し上げます。詳しくは
ホームページ「河内西国靈場会」
でも紹介しております。

在家伝法について(四)

融通念佛宗 勸学林 学長 吉村 暉英

今回は七重式について説明させて頂きます。

七重式というのは、伝法人人としての心構えや儀式・作法の意味などを習得するため七項目を設けて伝授することをいいます。

第一、行者用心総式
念死、無常迅速、暫時もかるべからず。

いつも死を念頭におくべきである。無常の風は時所を選ばず、早い速度でやつてくる。そのことを少しあるから、いつも仏を念頭におくべきである。仏心は大慈悲心であり、必ずその人を守護し、救いとつてくださるのである。だから常に念佛を怠ってはいけませんよという意味であります。

この世は有為転変、諸行無常といつて、たえず生滅をくりかえし、万物は常に変化して少しもとどまることがあります。人の命もまたその例外ではありません。

行者用心総式は仏道を修行する者が、最初に心がけるべきことを説いています。まず無常（特に死の無常）をしつかりみつめ、そこから仏を念ずること（本宗では南無阿弥陀仏と称えること）の大切さを説いています。

生と死——この二つは同一のものであり、生を全うすることは、死を全うすることであるというのが仏徒の建前です。

それではこの無常の世をいかに生きるべきか、それを仏教では「無常觀」という言葉で教えています。常觀は大別して次の四項に要約されます。

一、信心のまこと心を持つべきこと

この世の中が無常であるということは、私たちはいつも不安にさらされているということでもあります。そんな中で生きていくためには、心の支えが必要です。ここに仏を信じる信仰の世界（仏教では信心という）への道が開かれるのです。

万物が移ろいゆくこの無常の世に、仏だけが常住なのです。常住とは無常の反意語で、常なる状態が続くことをいいます。

仏こそ永久不变の真理そのものの体現者です。その仏に全生命を投げ打つて信じ、寄り添つていくことが、充実した人生を送る道なのです。

二、きょうの一 日、今の一刻を大切にすること

無常の世は、また有限の世界でもあります。私たちの生命も有限です。限りある人生の中において、悔いのないようにするために、一日一日、一刻一刻をこよなくいとおしみ、有意義なものにしていかなければならぬということです。

三、努力・精進が大切なこと

「今、自分の置かれた場所を光らせることが努力であり、それをいつまでも持続させることができることが精進です。

である。」といった人があります。人はそれぞれの居場所があり、またその日のうちに居場所は替わるわけですが、どこにいても、どんな環境にあっても、その場その場において今のこの瞬間に全生命を打ち込む思いで事にあたることが大切です。そしてそれを一生涯続けていくことが、人として悔いのない充実した人生を送ることになるのではないかでしょうか。

かつてカトリック修道女の渡辺和子さんは修道院での修行中、厨房の皿洗いの仕事をいいつけられて、不不服ながらそれをやつていたところ、指導者であるシスターにきびしく注意されました。渡辺さんはこんな雑用をするために高等教育を受けたのではないとの思いを持ちづけていたのです。しかしそのとき注意されたことによって、ハッとした人生にめざめたといいます。

後に渡辺さんは「人生に雑用という用はない」という名言を残されました。雑用にするかしないかは自分がきめることです。ともすれば雑用にしてしまいがちな己が心を激励して、努力・精進の道を歩みたいものです。

（1）**滅罪……**「仏名を称するが故に、もろもろの罪、消滅す」（『往生要集』）とあるように、今まで作つてきた罪過が消え去るといふことです。

四、驕りたかぶりと怠惰をいましめ、謙虚に生きること

お経の中に「驕慢（おごり高ぶること）と弊（悪事）と懈怠（なまけ怠ること）の人は仏の御名を聞くことができず、仏法を信ずることも難しい」とあります。

自分は他の人とは違った高い所にあり、質がすぐれているのだと得意になつて人を見下すなど、驕慢心はいたる所に潜んでいます。

（2）**護念……**念仏を称する人には、仏・菩薩・諸天が常に心にかけてお守りくださるというご利益

(3) 臨終正念・往生極楽……念仏

者は臨終のとき、心に怖れなく迷いなく、ただ一

筋に正しい想念（思い）で、極楽に往生できるという夜の夢のごとし」「驕る平家は開いたとき実をつけています。花を仏とすれば実は私たち衆生です。それが同時というものは生仏一如といつて、私たちと仏さまは本質的に同等であるということです。

また蓮は華果同時といって、花が開いたとき実をつけています。花を仏とすれば実は私たち衆生です。それが同時といつて、私たち生きることは、同時に本質的に同じです。



第二、念珠式

百八煩惱 当願衆生 一時消滅 無量罪

百八煩惱、まさに願くは衆生とともに無量の重罪、一時に消滅せんことを

私たちは日常生活において、たまに顆数は百八の半分、五十四顆になっています。これは無量寿經に説く五十四仏、すなわち、阿彌陀仏がお出ましになるまで、五十四の仏さまがおられ、それぞれその時代の衆生を救いとつては滅度（救いおわつてお姿を隠される）こと）されたことに因んでいます。

私たちには、毎日百八の珠を繰ることによつて、煩惱を少しでも減らすよう、またこれを消滅させるよう、念佛にいそしむことを教えるのが念珠式の心です。

次に顆数は百八の半分、五十四顆になっています。これは無量寿經に説く五十四仏、すなわち、阿彌陀仏がお出ましになるまで、五十四の仏さまがおられ、それぞれその時代の衆生を救いとつては滅度（救いおわつてお姿を隠される）こと）されたことに因んでいます。



を信する心で称えるわけですが、そうして一心に称えたならば、必ずご利益が得られるということです。

七重式第一の「行者用心総式」は、つまるところ念仏の心の支え、人生の指標として、常に心にとどめ実践することにより、この無常の世に確たる信念をもつて生き抜くことをめざしているのです。

また蓮は華果同時といつて、花が開いたとき実をつけます。それはあらゆる無常の世には排除しなければならないものです。

「泥水をくぐりて清き蓮の花」といわれるよう、蓮は泥水の中から咲き、しかも泥にまみれない清らかな花をつけます。それはあらゆる無常の世には排除しなければならないものです。

興大通上人が遺言されたものです。「泥水をくぐりて清き蓮の花」といわれるよう、蓮は泥水の中から咲き、しかも泥にまみれない清らかな花をつけます。それはあらゆる無常の世には排除しなければならないものです。

昭和五十年頃、夏野義常師と關本明正師による読経用カセットテープ『融通念佛宗 在家勤行式』が発売されました。

このたび、両師のお声をそのままにCD版として発売することになりました。



**復刻版
『融通念佛宗 在家勤行式』 CD 発売**

価格は、千五百円で総本山大念
佛寺売店にて販売しています。
檀信徒の皆様が
お勤めに活用
していただけ
ればと願つて
おります。

の少ない線香もあります。
興味をもつてみると非常に面白いもので、やはり高級な材料を用いた線香は迫力を持つていたり、一方で、安くても上手く調合されて優しい香り、優雅な香り、さわやかな香りを漂わせたりします。お店に

と一緒に、是非楽しんで頂きたく思
います。せつかくのお正月、香炉の
灰を綺麗にしたのだから、普段と違
うお線香をあげてみてはいかがでし
ょうか。

話せば心も軽くなる 大阪仏教テレホン相談室
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶が
お受けします。
月曜日～金曜日 一月十一日～十二月二十四日(八月休)
でんわ ○六(六二四五)五一一〇 午後二時～五時迄



子ども寺子屋念佛修行道場

一クラスの人数の子供達。しかも初めて会つた者同士が、最初はモジモジしていても、バスに乗り現地に着けばもうお友達。総本山大念佛寺の本堂ではおとなしかつた子供達も、福住ふくすみの西念寺に着けば、ワーワーキャーキャーあつというまです。大人になるとこういつた事も新鮮に見えます。

万部おねりの菩薩様をモチーフとしてかわいらしいデザインに仕上げりました。既に八月中旬より本堂売店にて販売しております。価格は千五

開始記念として付けさせていただきます。大念佛寺へ参詣の折には手に取つていただき、集印の旅と一緒に連れて行つていただければありがたい限りに存じます。

なお大念佛寺は河内西国靈場、おおさか十三仏めぐり、なにわ七幸めぐり、神仏靈場の札所になつておりますのであわせてご案内申し上げます。

○一月十六日(火) 午前十一時

融通念佛会

ご一緒にお念仏を称えましょう。

○一月十六日(火) 午後一時

百万遍会(大数珠くり)

外陣いっぱいに張りめぐらされた数珠を、お念仏の声もろともに繰ります。

管長猊下から身体堅固のお加持が受け

河内御回石御鼎
○六月十六日(土)、十七日(日)
午後二時

保管靈骨追善法要

七月七日(土) 午後一時
中祖法明上人 御忌法要

七月二十日(金)
鳥羽上皇忌

■ 每月第二水曜日
午後二時～四時三十分

総本山大念佛寺オリジナル朱印帳

大念佛寺年中行事ご案内(一月～七月)

軽くなる 大阪仏教テレホン相談室
十一日～十二月二十四日（八月休）
談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶が
（六二四五）五一一〇 午後二時～五時迄

融通念佛宗總本山 大念佛寺	
管法	主
宗務總長	長 倍巖
教學部長	田中 良舜
庶務部長	濱田 瑞修
財務部長	佐々木 全眞
篠塚	智祥
章臣	